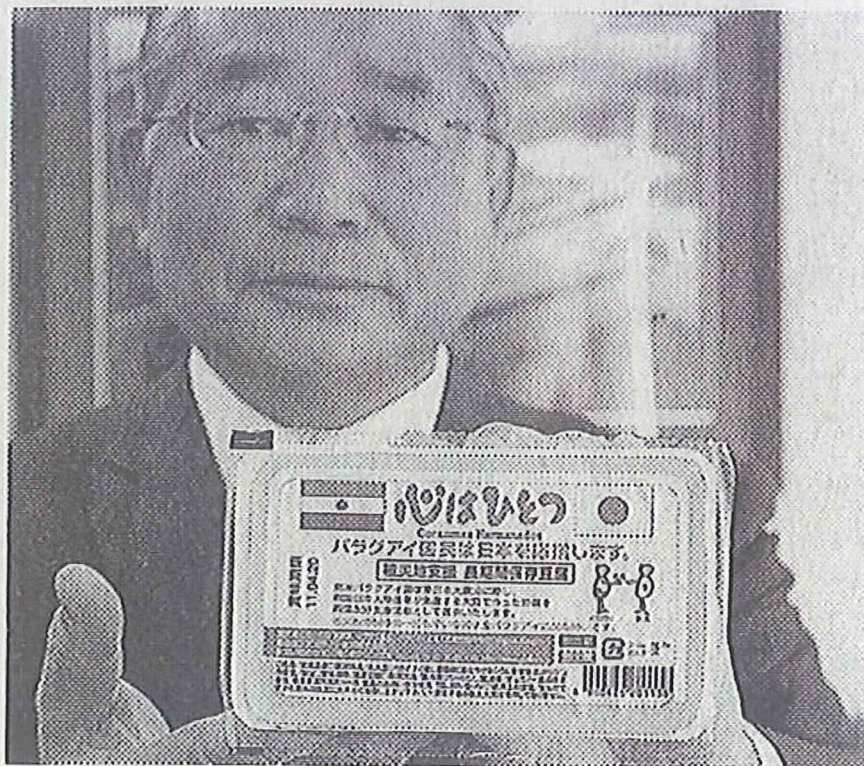


パラグアイの善意 届ける



「温かい湯豆腐やみそ汁を作って食べてほしい」と話す中田さん

寄贈大豆で 豆腐10万丁

美濃加茂の会社

岐阜県美濃加茂市の

食糧輸入会社「ギアリンクス」(中田智洋社長)は、取引先のパラグアイの日系農家から寄付された百トの大豆

を豆腐百万丁に加工し、十四日から東日本大震災の被災地で配布する。

同社は二〇〇二年からパラグアイの大豆を輸入し、現地の日系農家と交流を深めている。中田さんは三月十日、パラグアイの首都アスンシオンで、岩手県出身の大豆農家福井一朗さんから「とにかく協力したい」と、義援金一千万円と大豆百トを受け取った。

中田さんは「温かい湯豆腐やみそ汁を作って食べてほしい」と、大豆を百万丁の豆腐に加工し、「心はひとつ」と書かれたパッケ―ジを付け被災地に配布することにした。

十三日から岐阜県関市の豆腐メーカーが製造を始める。義援金を受け付けており、寄付した人にも豆腐を配布する。問い合わせはギアリンクスへ 電0573(66)51111へ。